

「支えあい」

～つるがで暮らそう～

Vol.12

2022年2月発行

お家での生活をレポート！ 在宅で看取りを経験されたご家族に、お話を聴きました。

Aさん(80歳代)は、消化器系のがんを患い入退院を繰り返しながらも、家族旅行や畑を楽しみながら過ごされていました。手術後に、余命が残り少ないことを告げられたAさんが「家に帰りたい」と願ったため、家族は家で看取することを決めました。

家族談

住み慣れた我が家で最期を過ごした父

父は、大好きな庭が見える部屋で食事が摂れなくなるまで、好きなお蕎麦を食べコーヒーをたしなみしました。市外に住む兄弟や孫、ひ孫全員が会いにきて家族団らんの時間を過ごせたのは、自宅にいればこそ叶ったことです。また、看護師やヘルパーの訪問を心待ちにしており、いつも「ありがとう」と感謝の言葉を口にしていました。

なんでも相談できるサポートチームの存在

看取りは「精神的にも身体的にもつらい」というイメージがあり、最初は不安だらけでした。退院前の話し合いでは、病院のスタッフやケアマネジャーが中心となって、医療や介護のサービスを利用できるよう調整してくれました。父は延命処置を望まなかったため、医師の助言を受けながら、訪問看護師やヘルパーに、薬の飲ませ方や食事・着替え・排泄などのお世話の仕方を教わりました。夜間何かあったら…という不安もありましたが、訪問看護師が24時間対応で電話に応じてくれ、大変心強かったです。



訪問看護師より

ご家族は、刻々と変化するAさんの病状を最期まで近くで見続けながら、協力してAさんを支え、悔いのない看取りをされました。

迷いや不安が付きまとい心が揺れ動く看取り期は、徐々に身体的負担も大きくなります。訪問看護師は、ご本人に関わる様々な専門職と連携しながら、寄り添い支援していきます。

看取りを経験して

訪問入浴サービスを利用し気持ち良さそうに入浴する顔を見たとき、もっと早くに利用できていればと悔やみました。看取の際の対応や自宅でどんなサービスが利用できるのか、など知らないことが多く、早くに知っていれば父の状態に合わせてサービスの相談ができていたと感じました。自宅での看取りに悩んで迷っている方や、情報を求めている方はたくさんおられると思うので、必要な方々にもっと広めてほしいです。



配布無料!

これからのことを一緒に話し合う機会に、「あんしん連携ファイル」を活用してみませんか?

「あんしん連携ファイル」は何を記入しておくの?

◎ご自身の思いや信頼できる人、医療・介護関係者とともに考えたこと

- 病気が悪くなった時に、どこで・どのように過ごしたいか
- 病気や介護サービス利用のこと、毎日の体温や血圧 など

情報をまとめて保管できて安心だね!



【配布先・問合せは…】 敦賀市長寿健康課 TEL: 22-8181

過去に発行したものもご覧いただけます!

- 敦賀市 長寿健康課で配布しています
- 市ホームページよりご覧いただけます

敦賀市 支えあい

検索



※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

Pick up

～在宅で受けられるサービスをご紹介します～

- ◎住宅改修 Vol.11
- ◎薬剤師の訪問 Vol.10
- ◎自宅でリハビリテーション Vol.9
- ◎小規模多機能型居宅介護 Vol.8
- ◎訪問歯科診療 Vol.6 など

多職種連携研修会を開催しました!

医療・介護関係者の連携をスムーズにするため、毎年開催している研修会です。
今年度は、「コロナ禍における入退院支援～今だからこそ多職種間で連携・共有したいこと～」をテーマに、感染対策を十分にとった上で医療・介護関係者が集まり、意見を交わしました。

ご本人に直接会えず、状態が分からないまま退院になって、ご家族や支援者が困ることが増えたね。

動画や連携シートを活用して、本人の状態や意向がスムーズに伝わるようにしましょう。

研修会の様子



LINE(オンライン)を使って、遠方で参加できない家族に、退院前の話し合いに参加してもらいました。

安心して過ごしてもらえるように、入退院時にこまめに情報を共有することが大事だね。

参加者の声

- 医療・介護の立場の様々な話から、情報の共有の大切さを痛感した。
- コロナ禍が続く中、ご本人の思いを大切に確認しながら、スムーズに在宅生活を過ごしていただけるように支援していきたい。



健康ワンポイント講座

シリーズ 8

皆様の健康のために、さまざまな健康ワンポイントをシリーズで掲載!



〈担当〉
田中 絵美子 先生

今回は「負担のかからない介護技術 ～立ち上がり編～」です

トイレに行くときや、便座から立つ時に立てないことはありませんか?
日常生活で必要不可欠であるトイレ場面での、間違いやすい介助方法と負担のかからない介助方法をご紹介します。

確認してみましょう!

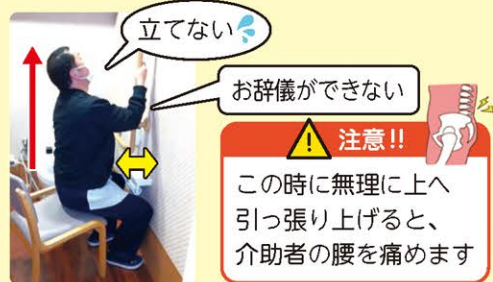
- 1 足が前に出たまま立とうとしていませんか?



- 2 足の裏が全面床についていますか?



- 3 手すりに近づき過ぎていませんか?



立ち上がり3つのポイント

- 1 膝が90°以上曲がっている
- 2 足裏が全面床についている
- 3 お辞儀ができる空間がある (お辞儀するとお尻は浮きます)

動作を行う前には、準備が大切です。トイレやベッド、車椅子など様々な場面で、「立ち上がりにくい…」と思う時には、3つのポイントを確認してみてください!

